

安全安心だより

千歳市安全で住みよいまちづくり推進協議会

事務局：千歳市市民環境部市民生活課
防犯・交通安全係 ☎ 24-0263
FAX 27-3743

ストップ特殊詐欺

令和4年中の全道における特殊詐欺被害の認知件数は308件と前年に比べ168件増加し、被害総額は約12億4,000万円で約6億4,400万円増加しました。被害者の8割が高齢者(65歳以上)です。市内でも、市役所や金融機関職員、息子等を装った人物からの特殊詐欺の予兆電話が多く発生しています。突然の電話で、お金の話が出たら相手が誰であっても、一度電話を切り、家族や警察等に相談してください。

『詐欺電話がきたら#9110』 (警察相談電話、24時間受付)

被害に遭わないために

- 1 「渡さない、教えない」で詐欺ブロック!
警察官や市役所職員をかたって「カードを確認する」、「カードを交換する」、「カードを封筒に入れて保管する」という電話は詐欺を疑い、すぐに電話を切って警察へ110番通報してください。
- 2 お金を「送る、手渡す、振り込む」前に相談しましょう!
お金の話は一人で決めず、家族や警察(#9110)へ相談してください。
- 3 詐欺の手口に関心を持ちましょう!
「詐欺のニュースや記事」を見て知識をつけることで詐欺に気づきやすくなります。
- 4 留守番電話を活用しましょう!
在宅時でも留守番電話に設定しておき、相手を確認してから電話に出ましょう。犯人と会話せずにすみます。
- 5 電話防犯機器が効果的です!
通話内容の自動録音や警告メッセージ機能がついた防犯機器は被害防止に効果的です。

千歳市内の犯罪発生状況

令和4年中の市内における刑法犯認知件数は524件と前年に比べ52件増加しました。自転車盗が多く、このうち6割は無施錠です。盗難を防ぐには、2か所にワイヤーロック、チェーン鍵などを掛ける「ツーロック」が有効です。短時間の駐輪でも施錠しましょう。

暦年	刑法犯 (件)	総 数	内 訳						
			自転車盗	車上 ねらい	部品 ねらい	侵入 窃盗	強制 わいせつ	特殊 詐欺	その他
令和4年		524	123	52	7	12	3	4	323
令和3年		472	137	34	4	15	3	1	278
増 減		52	-14	18	3	-3	0	3	45

道内の暴力団情勢 ～問題解決は早期相談～

令和3年末現在の北海道内における暴力団構成員等の総数は約1,210人で、このうち暴力団構成員数は約490人、暴力団準構成員等数は約720人となっています。

ほとんどの人が「自分は暴力団等とは関係ない」と思いがちですが、いつ、どこで、何が発端となって関わるかわかりません。暴力団等は、挑発して失言を誘い、言葉尻をとらえて糾弾し、無理難題を押し付けてきます。「暴力団対策法で禁止されている行為」には主に次のものがあります。暴力団員からの不当、不法な要求等があった場合は、悩まずに早期に警察へ相談してください。

暴力団対策法で禁止されている主な行為

- スキャンダルや仕事のミス等人の弱みをネタに「口止め料」の金品を要求する行為
- 企業等に対し、不当に寄附金、賛助金等の金品の贈与を要求する行為
- 飲食店等に対して「あいさつ料」等名目のいかに問わず金品を要求する行為
- 大声を出したり、強引な方法で債権を取り立てる行為
- 借金や代金を支払わない行為
- 交通事故等の示談に介入して、金品等の供与を要求する行為
- 事故や商品の欠陥等を口実に金品を要求する行為



※暴力団等がもっとも恐れていることは、警察に通報されることです。一人で悩まずに早期相談、通報を！

千歳市内の人身交通事故発生状況(高速道を除く)

令和4年中の市内における人身事故件数は154件と前年に比べ20件増加しました。

多くは市街地交差点における車両同士の追突や出会い頭によるものですが、車と歩行者、車と自転車の衝突事故も多く発生しています。

運転する際は、信号機の有無に関わらず、横断歩道や交差点で横断しようとしている歩行者がいなかをよく確認し、スピードを抑えた運転をしましょう。同時に、後部座席を含めた全席でシートベルト（6歳未満はチャイルドシート）の着用も大切です。

また、歩行者、自転車の方は、信号機のある交差点を利用する、信号を守る、斜め横断をしないなど、ルールを守ることはもちろん、「車から自分のことが見えるだろう」「車が止まってくれるだろう」と過信せず自らを交通事故から守りましょう。自転車は乗車用ヘルメットを着用し運転しましょう。

交通事故 暦年	人身事故 件数(件)	亡くなられた方 (人)	けがをされた方 (人)
令和4年	154	2	172
令和3年	134	1	150
増減	20	1	22

